



発行所 日本共産党東部地区 岩国市委員会 岩国市山手町4-3-5 22-2245 7月号

市議会議員 大西明子 山田泰之 藤本ひろし 古谷清子



お読みください 日刊 月2900円 日曜版 月800円

### 大西議員の一般質問

#### 公述人全員が

#### 米軍住宅建設反対

愛宕山地域開発事業の跡地転用に ついて5月27日公聴会が開催されま した。

将来のまちづくりとして15ヘク タールが旧国病や公共施設の建設に あてられ、残る45ヘクタールが財政 赤字の解消を目的に防衛省に売却す るというだけで、事実上、米軍住宅 を建設することを容認するものであ るとして公述人全員が反対しました。 大西議員は、住民の大多数が反対し ているにもかかわらず、県も市も国 との交渉で米軍住宅反対の条件提示 すら行っていない。今後米軍住宅 反対の声をどのように届けるのか質 問。

市長は買取後他の用地に転用する 場合は地元住民の理解を得た上で対 応するよう最大の配慮を求めている と答弁 公約の「国の言いなりにはな

らない」「しっかり物をいう」という姿勢を聞いて欲しいと要望しました。

#### 学校給食ピンチ

栄養士さんの話では3年生、

4年生で600カロリーを確保して いるようにしている。1日の給 食費は旧市内で235円、既に牛乳 等の食材が値上がりしているが、 献立の工夫でカロリーを落とさ ないよう頑張っている。例えば 牛肉は高いので鶏肉に替える。 デザートも果物の回数を減らす など工夫しているが、もう限界 だということだ。

子どもたちの健全な発達を保 障し、楽しくおいしい給食を続 ける為には市の補助は欠かせな い。今すぐに補正予算を組んで 対応すべきだと要求。市は調理 には欠けない食材が値上がりし ているが、献立の工夫で栄養の バランスを保ち、必要なカロ リーは摂取しており、給食の質

は維持できていると考え、当 面は現在の給食費で対応可能 と考え、今年度価格調査を行 い来年度以降の給食単価を検 討したいと答弁。

しかし、福田市長は選挙で 子育てのしやすい環境を整え るとして、給食費の無料化又 は軽減を公約しています。給 食費の値上げは絶対にあつて はなりません。早急に一般会 計からの補助をすべきです。



### 山田議員の一般質問

#### 選挙公約について

#### 具体的な答弁はなし

「子育て支援」の中「子育て 支援センターを学校区ごとに 創設する」とこと、「幼稚園や 保育園の保護者の負担軽減」 について具体的な答弁を求め ました。

「子育て支援センター」の設置 数は、「こども館」を中心に市内8 箇所まで延べ利用者は76・94 9人です。今後の方針は「につこ りプラン」で需要調査を行い、 必要性の高いものについては実 施すると答弁しました。

「保育園の保護者の負担軽減」 については、山口県下でも3番 目に安くなっています。旧町村 間の保育料を、平成21年度で統 一すると答弁。

「新たな負担軽減」について は、財源措置が必要とし「子育て 支援施策」全体の中で実現可能 か今後検討するに留まりました。

「幼稚園の保護者の負担軽減」 についても国の補助基準にもと づき補助金を支給している。第 2子以降の保育料については無 料化を実施している自治体もあ り、財政状況を勘案し検討する に留まりました。

#### 騒音問題について

#### 民間防音工事

#### 区域の拡大について

実態に即した騒音対策の必要 性は十分認識しており、対象地 域を70W以上にする事、区域 指定後の新築・増改築住宅や防 音工事実施済住宅の建て替えに

伴う防音工事の再補助につ いても涉外知事会を通じて 国に要望している。

#### 騒音苦情受付を

#### フリーダイヤルに

システムや予算的な問題 があり今後の検討課題にさ せていただきたい。

#### 滑走路の

#### 運用時間について

て

現在、「岩国日米協議会」で 「滑走路運用時間(午前6時 30分～午後11まで)外に使 用する場合は岩国市に通報 する」ことが確認されていま す。事前通報がない場合や事 後の通報の遅れが発生した 場合、岩国市はその都度米側 に厳しく改善を求めている。 岩国市としては従来から「涉 外知事会」を通じて航空機の 騒音軽減措置として夜間・早 朝、土・日曜日、祝日、盆及 び年末・年始の飛行の全面禁 止を求めていると従来の答 弁と何ら変わりませんでし た。



藤本議員の一般質問

小規模工事等希望者の登録制度の充実を

登録制度の充実を

現在、市営住宅の修繕などの小規模事業について、建設業の許可を持たない小規模事業者が27業者登録され年間約100件、工事量1千万円が実施されています。

この制度の対象業種・業者を広げるよう求めました。



耐震化対策求める

避難所に指定されている岩国市の施設の耐震化や民間住宅の耐震化の促進について質問し、公の施設の耐震化を急ぎたいと回答。

民間住宅の耐震化促進について、今年度から耐震診断・耐震工事の補助制度を実施している。として、補助率は三分の一以内、補助限度額耐震診断4万円。耐震工事は30万円である。活用して欲しいと答弁しました。



軍民共用化は

中止を含めて

見直しを求める

軍民共用空港問題は、艦載機が移駐してくることになれば、極東一の巨大な軍事基地と同居という事になり、国内では例のないきわめて危険な空港となる恐れがある。

更に、国の空港計画をひっくり返すには、きわめて高度な政治取引により、国の方針を曲げるわけですから、岩国市にとつて過大な、例えば沖合い移設と愛宕山開発の関係のようなりスクのある施策を要求される可能性がある。

そして、当初の情勢と今日では情勢が大きく違ってきている。新幹線「のぞみ」の広島、徳山への部分停車。北九州空港などあいつぐ地方空港の開港など空の便をめぐる状況は景気の低迷とあわせて一変していることを指摘し、中止を含めて再検討を求めました。

古谷議員の一般質問

地産地消の

取り組みについて

学校給食での地産地消の取り組みについて昨年の12月にも質問したがその時の答弁で「地産地消協議会を立ち上げて意見を交換しながら、どう効果的に進めていくかと協議していく」との事であったが、その後の効果的な取り組みについて問う。

答 市場と教育委員会と強調して地場産食材の利用促進を中心とした、地域に根ざした学校給食を推進し、子どもたちの心身の健全な育成と地産地消による農林水産物の活性化を図る目的で積極的に取り組んでいる。

「産地情報」「青果出回りカレンダー」の作成による産地情報提供等で協力し、各学校で実施している。



月1回の「地元食材の日」もある。今後も品質の良い農産物を安定的に出荷できるように生産者も栽培出荷技術を磨いていく。

新規就農支援の

取り組みについて

内容について問う。研修期間中は保障されているが、その後の保障がない。農業を続けていく為の支援がないなどせつかつく新規に農業をめざそうとしても途中で止められる方もある。もっとホローが必要では。

答 岩国市担い手育成総合支援協議会を設置し、県、JAなど関係機関の協力を得ながら、技術取得の為の研修費の助成など行なっている。地域の方々の協力も得ながら、土地の借用や空き家情報などもお願いしている。市として金員による支援は現在行なっていない。

農業を

振興させるための

プランについて

答 農業生産基盤の整備、担い手の育成支援、集落営農組織の構築支援など関係機関と連携し努めていく。

採択された意見書

療養病床削減反対

六月議会では「療養病床の廃止・削減計画の見直しなど安全・安心な医療を保障する為の諸施策を行なうことを求める意見書」が全会一致で採択されました。



FCLP

(空母艦載機訓練)

基地化反対

岩国基地を空母艦載機の離発着訓練(夜間のNLP、昼間の訓練を含む激しいもの)FCLPの訓練基地にするなどという意見書も全会一致で採択されました。他に「自衛隊の残留を求める意見書」も全会一致で採択されました。